

デコレーション風船の作り方(基本のモール)

一番の基本形である風船モールができればあとはその応用である。

①



ゲージをつくる

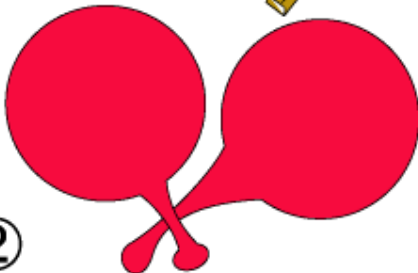
用意するもの：①ゴム風船 ②風船の大きさを揃える「ゲージ」
③モールの芯になる「魚釣り用テグス糸」

ゲージの間隔は8丸風船で約16cm、12丸風船で約20cmくらいがよい。

①

角材と丸棒を使ってゲージをつくり、膨らました風船を一つづつゲージに通して大きさをそろえます。
(大きさが揃っていることがきれいなデコレーションをつくることのきほんです。)

②



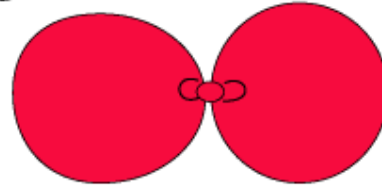
同じ色の風船をこま結びにしてユニットをつくる

②

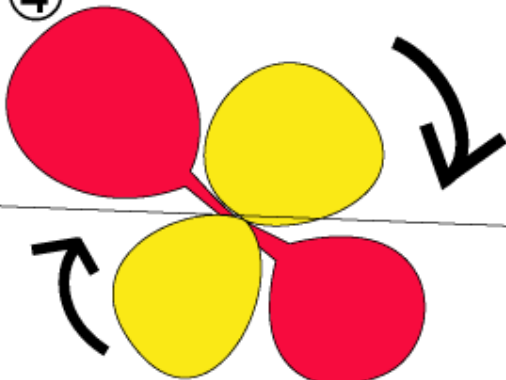
同じ色の二つの風船の口を引っ張り合わせてこま結びに縛ります。(図解ではよくわかるよう違った色の風船になっていますが、実際は同じ色の風船で縛ってください。) この一回の工程で風船の口を縛ることと二つの風船を結びつけることの二つの工程ができました。

③

一組のユニット



④



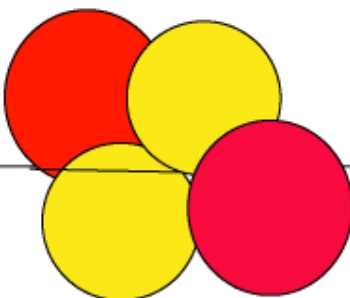
糸をはさんで二つのユニットをお互いにねじりあわせる。

④

③二つにつながった一組の風船を一つの単位とします。デコレーションはこの単位(説明上ユニットと呼ぶことにする)をつなげていくことで完成します。

事前に、丈夫で滑りやすい糸(魚釣り用テグス糸がよい)を張っておきます。違う色の2つのユニットを糸をはさんで向かい合わせてお互いにねじりあわせる。
(ゴム自体のねじる力で自然にくっつくので接着剤やセロテープは不要である)

⑤



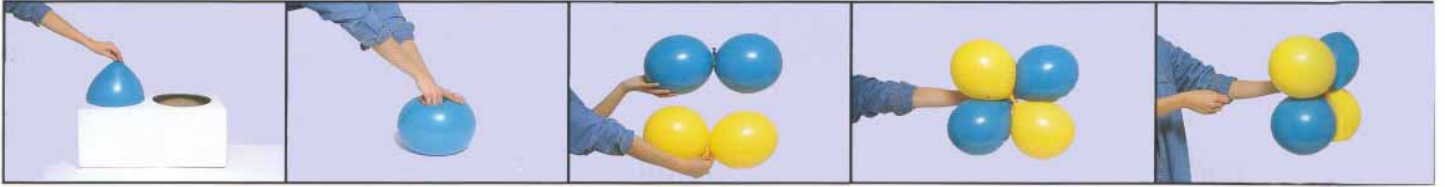
⑤

二つのユニットを繰り返して作っていくことで、どんどんモールの伸ばすことができます。風船の大きさに対して4こ一組に対して約5割の距離を進むので直径20cmの風船で10mの長さのモールを作るには約280個の風船が必要である。

川越市問屋町3-1

株式会社新井商店制作

バルーンデコレーションの 基本はコレ!! <4つ玉クラスター>



バルーンデコレーションをきれいに作るには、まず風船のサイズをそろえること。写真のように、作りたいサイズの穴をあけた段ボール箱で一つ一つ測ります。

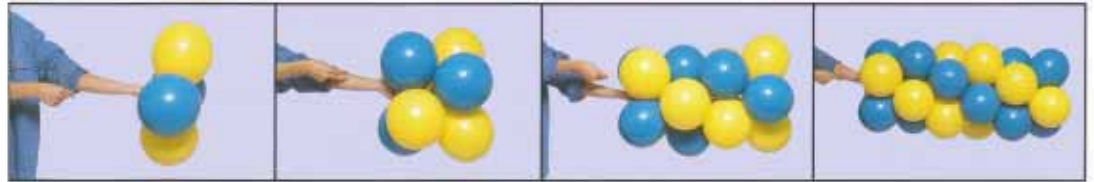
膨らませたままの風船は、吹き口の方がとがっています。ここに丸みをもたせるために、吹き口を持って押しつぶします。こうすると仕上がりがきれいになります。

膨らませた風船を2個ずつ結びます。デコレーションにはたくさんの風船を使うので、エアポンプで膨らませる人、風船を結ぶ人など流れ作業にすると能率的です。

2個ずつ結んだ風船同士を十字に重ねて結び目でひねります。4個の風船がしっかりとくっついた4つ玉クラスターの出来上がり。この基本形がきれいだと、仕上がりがきれいにあります。

柱やテーブルの足などしっかりしたところに、テグスの両端を結びつけます。テグスは20号代のものが最適。ピンと張ったテグスに4つ玉クラスターを通していきます。

風船飾りに必要な材料は基本的には 風船、形の芯になる、テグスや骨組み材だけです。あとは能率を上げるためのポンプや大きさを揃えるためのゲージを使い、ひたすら人海戦術で行います。作品のでき、ふできは事前のデザインや企画、風船の量、労働時間をどれだけつぎ込めるかによって決まるでしょう。



テグスにクラスターの結び目を合わせ、2~3回ひねってからませます。片方の手でクラスターの中心を押し、テグスにそって前にすべさせます。最初の4つ玉クラスターは特にしっかりと付けてください。

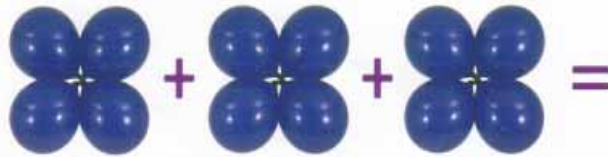
2番目のクラスターも同じ要領で、前のクラスターの窪みにぴったりと重なるようにつけます。クラスターをすべらす時、普通の糸だと風船をスムーズに動かせないので、必ずテグスを使ってください。

クラスター同士のすき間を出来るだけなくすように手で押しながら3番目、4番目のクラスターをつけていきます。

写真は6番目のクラスターをつけ終わったところ。クラスター同士にすき間がなく、2色の風船がスパイラルになった美しい仕上がりになっています。

■ ビーハイブ

ビーハイブはその名の通り「蜂の巣」をイメージしたバルーンデコレーション。基本の4つ玉クラスターを3つ組み合わせさせた、カンタンでボリューム感のあるデコレーションです。リボンと組み合わせると天井から下げるとゴージャス。



■ バルーンアーチ

一番よく使われるバルーンデコレーションといえば、これ。基本の「4つ玉クラスター」でカンタンにつくれて、しかも目立つことまちがいないのアーチです。パーティやセレモニーの入り口に使ってね! オレンジ、黄、緑、青を使った写真のバルーンアーチは、9インチのバルーンを全部で140個使用。アーチの両端には、スタンドにしっかり固定されたポールを通してあります。



■ バルーンドール

アーチやバウムツリーと同じように、スタンドがあればこんな楽しいバルーンドールもできてしまいます。基本の4つ玉クラスターを使って、一番上に大きなバルーンを取りつけ、あとは好みの顔のアレンジします。



■ バルーンガーランド



Helium Gas

■ バルーンブーケ

ヘリウムガスを使うと、バルーンデコレーションの楽しさはもっと広がります。バルーンブーケは、ヘリウムガスを使った「風船の花束」。風にゆらいても形がバラバラにならないように、ひもで結んだバルーンを上からちょっとずつずらしながら作ります。基本ルールは1:1:1(写真中央) 1:2:2:2、1:3:3:3(写真下)など。ヘリウムガスを入れたバルーンの滞空時間は、10インチのバルーンで約8~9時間ですから、パーティの当日に作るようにしましょう。



ヘリウムガスを入れたバルーンにはおもりをつけます。小石や、水を入れたバルーンを美しくラッピングしておもりにしましょう。可愛い演出をしたいのならぬいぐるみやマスコットをおもりにするのもいいかも!



■ ヘリウムバルーンアーチ

ガスの浮力でゆるやかなアーチをつくるのがヘリウムバルーンアーチ。ヘリウムガスを入れたバルーンを、細目のテグスに1個ずつ結んでいきます。バルーン同士の間隔が同じになるように、テグスの上ですらしながら調整します。他のバルーンデコレーションと同じように、バルーンのサイズをそろえることが美しいアーチを作る基本です。



ペーゴマ

■ エアーポンプやインフレーターを利用しよう!

たくさんのバルーンを口でふくらませるのは大変。手早くたくさんのバルーンをふくらますには、市販のエアーポンプが便利。電気を使ったプロ仕様のエアーインフレーターならもっとカンタンです。エアーインフレーターはバルーン関連の会社に問い合わせれば手に入ります。

■ 安全・無害なヘリウムガスを使おう!

ガスでバルーンをふくらませる時には、人畜無害の不燃性ガス「ヘリウムガス」を使ってください。水素など可燃性のガスは、引火爆発のおそれがあるので絶対に使用しないでください。ガスは通常ボンベに充填されていますが、重量があるので転倒などに注意してください。缶入りのヘリウムガスは通常1~2個のバルーンに使用されますので、たくさんのバルーンをふくらますデコレーションの場合には、ボンベ入りのヘリウムガスを業者から配達してもらってください。

■ バルーンは自然にやさしい植物製品

ゴム製のバルーン、いわゆる「ゴムフーズ」は、日光や水など、自然環境の中で分解される地球にやさしい植物製品。ゴムの木の樹液から精製された<ラテックス>という100%自然の原料から作られています。

■ アレンジに、ギフトに楽しめるマイラーバルーン

バルーンにはゴム製の他に薄いフィルムで作られたマイラーバルーン(アルミホイルバルーン)があります。マイラーバルーンは自由な形や、フルカラーでできるきれいな印刷が特徴です。ギフトにはもちろん、バルーンデコレーションのアレンジにもたくさん使われています。

■ サイズ、カラー、質感も多彩なバルーン

バルーンの種類は通常インチ(1インチ=2.5cm)で表記されますが、これはふくらました時のサイズです。ふくらませる大きさの目安は、バルーンが洋梨形になり始めた頃です。バルーンはカラーの他に質感も多彩で、ペーゴマ、マット、パールなどがそろっています。好みのバルーンを選んで、イメージ通りのバルーンデコレーションを楽しんでね。

■ バルーンデコレーションを楽しんだあとは……

つまようじなど先のとがったものでバルーンを割りながら片づけましょう。みんなでバンバン割るのはとっても楽しいけれど、ケガをしないように注意してね。ゴムフーズは自然環境の中でしか分解しないので、テグスと一緒にまとめて「燃えないゴミ」に。もちろんマイラーバルーンも一緒にね。

風船デコレーション



作品例

風船ランド

丸風船、長風船、クラフト風船等さまざまな風船のオンパレード

壁面アート



いろいろな色の風船を同じ大きさにして、窓際に一杯に飾りつけると、太陽の光を通して、ステンドグラスのように見える

風船ピンナップ



手作りのプレスレットの販売。窓際には風船のピンナップ

迷路の風船

通路をふさぐように風船を入れる。客は風船を掻き分けて迷路を進んでいく。



風船ゲート

風船モールを使った入場門。芯には野球のフェンスを利用。数量は推定で500個



風船のフルーツ



同じ色の風船を同じ大きさに膨らませて一つに寄せ集めるとフルーツのようになる。これを入り口あたりに並べて吊るしておくと、華やかさにつられてうまく中に誘導できる。

風船プール



ある決まった空間の中に風船を詰め込んだ風船プール。風船の中に景品を詰めると、宝探しゲームにもなる。

2000年度：埼玉県立入間向陽高校、川越女子高校、所沢東高校学園祭より掲載させていただきました



空間を飾りつける風船アートやデコレーションを楽しむには、風船のもつ色彩豊かで透明感のある光沢、同じ形の繰り返しによる幾何学的模様、などの特性をうまく利用します。風船が同じ大きさになるよう、ダンボールや角材などでゲージを作り、一つ一つ大きさをそろえながら、ひたすら風船を膨らませていくといった単純作業の結果が、やがて感動的な芸術作品となります。